

梓書院 新刊のお知らせ



写真で紹介

奥八女の四季を彩る花々たち

近藤倫彦・著 B5判・並製・132頁・1,400円+税

ISBN 978-4-87035-734-1

自然溢れる奥八女で春夏秋冬の花々を愛でながら散歩するような

福岡県八女市山間部「奥八女」。ダム湖から福岡県最高峰 釈迦岳までの標高差は約1000m。人知れず咲き誇る花々たちの一つの記録。

2008年～2021年の中で撮影された1100種を超える植物たち。これらの中には、いつの間にか姿を見せなくなったものも存在する。流れる四季の中で力強く咲き続ける花々、静かに淘汰されゆく花々。そのすべては、確かにここにいた。

2008年、日向神ダム湖畔、矢部川河岸に定着していた外来種バージニアツユクサを日本で初めて発見した著者による、奥八女(八女市黒木町松瀬ダム付近から矢部村全域)の植物たちの記録写真集。

【目次】

はじめに／3月 弥生 日向神ダム湖畔の桜花が奥八女に来訪を告げます／4月 卯月 釈迦岳のブナの芽吹きが花々のスイッチを入れていきます／5月 皐月 谷を渡る薫風の花たちは気持ちよく身を任せます／6月 水無月 青梅雨が木々に降り足元の草花も生き生きと輝きます／7月 文月 山峡の村にネムの花が咲くと本格的な夏の訪れです／8月 葉月 山辺に湧き立つ夏雲 花々は蝉の声に包まれ元気です／9月 長月 里の秋 彼岸花が四季に句読点を打ってくれます／10月 神無月 高い雲 秋の峰 みんな空に手を伸ばしています／11月 霜月 梅雨ごとに深まる秋 草花は冬越しの準備に入ります／12月 師走 冬ざれの奥八女 植物たちも肩を寄せ合っています／1月 睦月 謹賀新年 春にさきがけ寒風のなか咲く花があります／2月 如月 立春 厳冬の矢部にも暖かさの兆しが見え始めます／あとがき

【著者】近藤 倫彦(こんどう・のりひこ)

昭和18年3月10日生まれ。清流矢部川のほとりで生まれる。夏は水泳、魚釣りなどで過ごし、冬はスズメやカワラヒワを捕って過ごす。八女高等学校を卒業後、福岡学芸大学に進学・卒業。その後、3年間、大阪府高槻市立中学校、小学校に就職。その後帰郷、八女市の小学校に就職。転々とする。退職後は釣りに行ったりしながら、野生の植物の花の写真撮る。最近では矢部村に集中して花の写真撮る。ここ2年間は矢部村の虫の写真撮っている。2008年8月、八女市矢部村日向神ダム湖畔でバージニアツユクサを発見。

梓書院 (貴店番線)	注文	ご担当	ISBN 978-4-87035-734-1 C0072
	冊	様	写真で紹介 奥八女の四季を彩る花々たち
			定価:1,540円 (本体価格:1,400円+税)
		豊田 滋道・著	福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

注文扱い

配本は行って
おりません

日販
トーハン
きんぶん図書
楽天BN(ト
ーハン経由)

にてお取り扱い
致しております。